

こむ1会「交流」の活性化対策の提案

2022.12.07

こむ1会運営委員松崎 洋祐（運営小委員会所属）

1. 初めに

こむ1会の【目的】は会則によれば、目的は第2条 『本会は（公財）プラザ・コムが掲げる「ぷらざこむ1の願いと目的」\*に賛同し、誰もが住みやすい街や社会づくりに寄与することを目的とする。\*ぷらざこむ1の願いと目的…「すべての人にとって暮らしやすい街や社会を、ボランティアの力によってつくること』とし、その為の【活動】として、第3条の①に『①ぷらざこむ1を核とした、つながりづくりを促進するための活動』と定められています。従って「つながりづくり活動」はこむ1会活動にとっては重要な位置づけにあります。

現運営委員会では前期の提案を受けて「交流小委員会」が承認され、活動を開始しました。前期からの企画案は

- 1) フェスティバルの実行
- 2) 座談会

の2つの活動案が提案されていますが、下記理由からこんな活動を並行して実施してはどうかと考えて提案させていただきます。

2. 現状の問題点

運営委員会では每期あるべき姿の議論はするけれど結論が出ない。そのうえ毎年人が変わり、新体制では又同じ議論が繰り返される…、こんな消化不良の状態が続いている気がします。そんな中で交流活動に関しても多種多様なご意見が出ているようです。議論を重ねるのは決して無駄ではありませんが、目的に向かった活動には程遠いのが現実です。そこで提案ですが、「つながりづくり」の基本である、こむ1会各グループがどんな活動を実行しているのかをPRできる場を設けて、まずはグループ間のコミュニケーションや共有化を図ってはどうでしょうか？

現在計画されているフェスティバルはお互いを知る良い場ですが、年1回程度です。もっとタイムリーに生きた活動を知る機会を設けてはどうでしょうか。

3. 具体的な活動

- 1) 毎月の運営委員会でPRしたいグループは自ら出席してPRする。特に運営委員が所属するグループは積極的にPRする。
- 2) 出席できなくてもPRしたいグループは、毎月開催の運営委員会の数日前までに交流担当窓口迄資料（なるべく電子情報で）を送付する。不明な点は交流担当窓口がグループ窓口と打合せをして、納得した内容を運営委員会で報告する。尚PRしたい内容は特に問わない。活動していて困ったことでも良いものとしては如何でしょうか？お互いの情報から「つながり」が生まれるものと期待します。

以上